お伊勢さまと氏神さま・鎮守さまの神札をおまつりしましょう

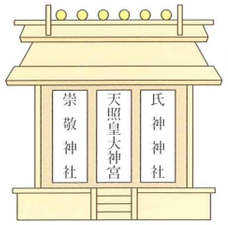
手を合わす心がつくる家族の輪

皇大神宮御正殿

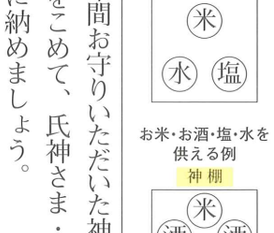
神棚のないご家庭には、壁掛けにもできる小型のものもあります。また洋室にも合う神棚、「やしろ」等もあります。

神前には、お米やお水等の他に季節の初物、お土産等も感謝の気持ちをこめてお供えし、二拝二拍手一拝の作法でおまいりしましょう。

神札を横に並べてまつる場合



神札を重ねてまつる場合



お供えの一例

◎一年間お守りいただいた神札は感謝をこめて、氏神さま・鎮守さまに納めましょう。

❖お伊勢さまの神札

八百万の神々の中心、皇室の御祖神である天照大御神をおまつりするのが三重県伊勢市に鎮座する皇大神宮です。

この皇大神宮の神札が神宮大麻で、氏神さま・鎮守さまを通じて皆様のご家庭にお配りしています。

神宮大麻は、「お伊勢さま」、「お祓いさま」等とも呼ばれ、年の初めを迎え、すべてがあらたまるように、神宮大麻もまた新しくおまつりし、家族の一年間の無事と幸せを祈りましょう。

❖神札のまつり方

神札は、南か東に向くようにおまつりします。

❖神宮式年遷宮

伊勢の神宮では二十年に一度、社殿を始め神々のお側近くにお納めする御装束神宝にいたるまで、すべてを新たに造り替え、大御神に新殿へお遷りいただく大祭「式年遷宮」が千三百年にわたって行われています。

この式年遷宮の制度は、あえて恒久的な建物を作るのではなく、同じ物を造り替える形式により日本古来の伝統文化や、その精神を次世代へ継承していく、我が国独自の思想が反映された、世界に誇るべき文化です。

平成二十五年斎行予定の第六十二回式年遷宮は、平成十六年に天皇陛下より、ご準備を宜しく努めるようにとのお言葉を頂戴して始まりました。翌年の山口祭から宇治橋渡始式に至るまで、諸祭儀も滞りなく厳かに執り進められてきています。

平成二十四年にはいよいよ社殿の造営が始まり、三月には御正殿の御柱を立て小工が打ち固める立柱祭、御正殿の棟木を揚げる上棟祭が斎行される予定です。

立柱祭

〒五一六―〇〇二三
伊勢市宇治館町一
神宮司庁
☎〇五九六―二四―二一一一
http://www.isejingu.or.jp/

〒一五一―〇〇五三
渋谷区代々木一―一―二
神社本庁
全国神社総代会
☎〇三―三七九―八〇一一
http://jinjahoncho.or.jp/